

科目名	国語			担当教員	富士原伸弘		
学年	2 年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	07G02_20010		
学習目標	1 学年までの国語学習の基礎の上に、日本語(母語)による言語活動(読み・書き・話し・聞く)を通して、それらの能力を高める。近代文学・古文・漢文の基礎知識を身に付け、理解・鑑賞できる能力を養う。本科目は、学習・教育目標 A, B, C に関係している						
進め方	教科書を基に、講義と論述・発表演習を行う。 特に、学習目標のうち、A1, B1, B2 の項目に重点をおいて授業を進める。						
履修要件	特になし						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1..論述「新学年の始まりに思う」(1)			定型書簡文、定型文書の形式を知り、文書作成する力を養う。 B2:1-2			
	2 評論「恐怖とは何か」(6)			現代的評論に触れ、視点の取り方を考える。 B1:1-2			
	3.古文「枕草子」(7)			日本古典・中国古典に触れて感性を養い、先人の思想の学び人間と文化について考える。 A1:3, A3:2			
	4.漢文「孟子、荀子」(7)						
	5. 前期中間試験(1)						
	6.小説「こころ」(8)			近代文学の代表作に触れ、自我意識を再考する。 A1:3, B1:1-2			
	7.古文「源氏物語」(7)						
	8.漢文「四面楚歌」(7)						
	9.前期期末試験(1)						
	10.プレゼンテーション(3)			プレゼンテーション演習により、共同作業と、要領よく説明する術を工夫する B3:1-3, C1:1, C4:1-4			
	11..随想「「ぞうさん」とまどさん」(6)			先入観に囚われない考え方の柔軟性を養う A3:4, B1:1-2			
	12.古文「私の百人一首」(8)						
	13.漢文「老子、莊子」(6)						
	14.後期中間試験(1)						
	15 評論「聴くということ」(6)						
	16.評論「未来世代への責任」(6)						
	17.古文「古事記」(8)						
	18.後期期末試験(1)						
評価方法	年 4 回の定期試験 8 0 % , および毎週の小テスト 1 0 % , レポート・提出物等 1 0 % の比率で総合評価する。						
関連科目	特になし。						
教材	教科書：柴田 武 他 著「新編 現代文」三省堂 小町谷照彦 他 著「新編古典」東京書籍 副教材：「速修常用漢字」文英堂,「新訂国語図説」京都書房						
備考	特になし。						

